

【HP 公開用】

国語

【読むこと】 全国や千葉県平均を上回る

(2) 林さんは、小川さんと話し合ったことをもとに、改めて「文章」を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめることにしました。あなたなら、「文章」を読んで考えたことをどのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 「文章」を読んで、考えたことを書くこと。
- 「文章」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- あなたの経験を書くこと。

【書くこと】全国、千葉県平均と同等だが、正答率が低い 問2—四

●必要な情報を引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について読み、花山さんが集めた情報をもとに以下の条件に合わせて空欄に入る文章を考える。

条件①集めた情報の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書く

条件②ぬき出した本の題名と本文の一部の内容は「」でくくる。

条件③ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書く

条件④140字以内にまとめる

<誤答>

パターン①・・・条件③④は満たしているが、条件①②を満たしていない

パターン②・・・条件を考えず、自分の考えを書いている。

パターン③・・・条件①、②、③のいずれか一つが抜けている

パターン④・・・無回答

【花山さんの文章の一部】

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1 はじめに

夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがアミじかい方がすずしいのではないか。なぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

2 どうして暑い日に長そでの服を着るのか

「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けをすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直しゃ日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。①強い日差しが照りつけるえん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。

では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

3 すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか

「熱中しょうかん境保健マニュアル2022」には、暑さをさける衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。〈図〉のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそうだ。

では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。

〈図〉



2
花山さんの学級では、夏を快適に過ごすためのくふうについて調べて考えたことを書き、友達と報告し合うことにしました。花山さんは、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章を書いていきます。次の「花山さんの文章の一部」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【花山さんの文章の続き】

4 すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、

5 終わりに

これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

(参考文けん)

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しやする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

四
花山さんは、「集めた情報」をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを「花山さんの文章の続き」に書いています。あなたが花山さんなら、
どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【話すこと・聞くこと】全国、千葉県平均とほぼ同等

- 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。

【漢字の書き取り】全国、千葉県平均を下回る

漢字を文のなかで正しく書き取ることに課題が見られた。

- ①「短い」……正答率は全国等に比べてやや低い
- ②「不思議」……正答率は全国等に比べて低い

算数

全国、千葉県正答率よりやや低い

※各領域の平均も全国等よりやや低かった。例題は其中でも、特に課題が見られたものをあげる。

【数と計算】全国、千葉県正答率よりやや低い

問3(2)

- 整数と小数の減法の計算をすることができる

たいがさんとひまりさんは、1 から 9 までの数字が書かれた 9 枚のカードを使って遊びます。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

カードを裏返しにして、1 人 3 枚ずつカードを引いて数をつくります。

たいがさんたちは、下の【ルール】で遊ぶことにしました。

(2) たいがさんたちは、【ルール2】で遊ぶことにしました。

【ルール2】

- ①引いたカード3枚すべてを、 に当てはめて小数をつくります。

.

- ② 5 に近い数をつかった方が、勝ちです。

ひまりさんは、3 6 7 を引きました。



ひまり

どちらの方が5に近いのかな。

6 . 3 7

3 . 7 6

6.37 と 3.76 のどちらの方が5に近いかを調べるために、下の㊷と㊸のひき算をします。

それぞれの計算の答えを書きましょう。

㊷ $6.37 - 5$

㊸ $5 - 3.76$

引いた3枚のカードで小数を作り、5に近い数を作った方が勝ち。3、6、7 を引いた時、より5に近いのは 3.76 と 6.37 のどちらか。それぞれを計算する。

ア: $6.37 - 5$

イ: $5 - 3.76$

アを正しく計算できる・・・90%
イを正しく計算できる・・・50%

整数-小数を正確に計算できた児童は約5割にとどまった。複数の繰り下がりがある計算に課題が見られる。

【図形】全国、千葉県平均よりやや低い

問1(4)

- 日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できる

4つの直方体の組み合わせ方で、3辺の合計の長さに違いがあるか調べる。
また、それによって送料に違いがあるか考える。

条件①3辺のそれぞれの長さを書くこと

条件②3辺の合計の長さを書くこと

<誤答>

パターン①・・・送料は正答しているが、条件①②を満たしていない

パターン②・・・小さな直方体(図2)の3辺を書いており、送料も正しくない

パターン③・・・どう組み合わせても、3辺の長さの合計は同じと考えている

パターン④・・・無回答、その他

【変化と関係】全国、千葉県平均よりやや低い

問2(3)

- (4) はやとさんは、図2のような直方体の箱に入ったおかしを宅配便で送ろうとしています。

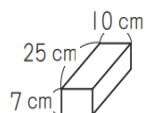


図2

A社の宅配便で送るとき、直方体の荷物の送料は、3辺の長さの合計決まります。

3辺の長さの合計を求める式

$(\text{縦の長さ}) + (\text{横の長さ}) + (\text{高さ})$

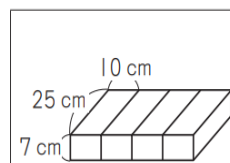
3辺の長さの合計が100 cm以下の荷物の送料は、下の表のとおりです

A社の送料

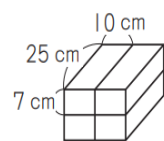
3辺の長さの合計	送料
60 cm 以下	920 円
60 cm より大きく 80 cm 以下	1210 円
80 cm より大きく 100 cm 以下	1510 円

図2のおかし1箱の場合、3辺の長さの合計は、 $25 + 10 + 7 = 42$ cmです。42 cmは60 cm以下なので、送料は920円です。

はやとさんは、図2のおかし4箱をまとめて紙で包み、1つの直方体の荷物にして送ります。まとめ方によって送料にちがいがあるかを調べるために、下の2つのまとめ方でできる直方体アと直方体イの送料を求めることにしました。



直方体ア
送料 1210 円



直方体イ
送料 円

直方体アの送料は1210円です。

直方体イの送料は何円ですか。

直方体イの送料の求め方を

- ・3辺のそれぞれの長さ(縦の長さ、横の長さ、高さ)
- ・3辺の長さの合計

がわかるようにして、数や言葉を使って書きましょう。

また、送料が何円になるのかも書きましょう。

ただし、紙の厚さは考えないものとします。

- 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断できる。

ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味について、正しいものを選ぶ。

<誤答>

パターン①・・・込み具合を求めるための式の意味を理解できていない

パターン②・・・出した答えと込み具合を正しく結びつけることができない

問2(4)

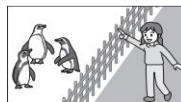
- 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる

赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を二つ選ぶ。

<誤答>

赤の方が1.5メモリ長いイ、エを選択。倍の理解に課題がある。

- (3) AとBの2つのペンギンの広場があります。
下の表は、広場にいるペンギンの数と広場の面積を表しています。



広場にいるペンギンの数と広場の面積

	ペンギンの数(羽)	面積(m ²)
A	10	20
B	12	30

ことねさんは、どちらの広場の方がこんでいるのかを調べるために、下の計算をしました。

【ことねさんの計算】

$$\begin{array}{l} \text{A} \quad 10 \div 20 = 0.5 \\ \text{B} \quad 12 \div 30 = 0.4 \end{array}$$

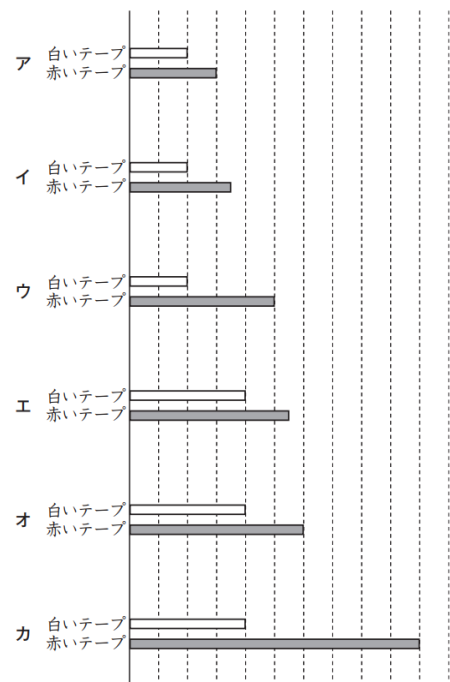
【ことねさんの計算】をもとに、どちらの広場の方がこんでいるのかについて、下のようにまとめます。

下のアとイ、ウとエの中から、正しいものをそれぞれ選んで、その記号を書きましょう。

【ことねさんの計算】は
ア 1 m²あたりのペンギンの数を求めています。
イ 1羽あたりの面積を求めています。
ウ 商が大きいAの広場の方がこんでいることがわかります。
エ 商が小さいBの広場の方がこんでいることがわかります。

- (4) 赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図はどれですか。

下のアからカまでの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。



【データの活用】全国、千葉県平均よりやや低い(全国的に低い)

問4(3)

●二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる。

二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く。

<誤答>

パターン①・・・「前半あやとり」の人数のみ正答

パターン②・・・「前半かるたで後半あやとり」の人数のみ正答

パターン③・・・どちらも誤答

パターン④・・・無回答

二次元の表を正しく読み取ることができない児童がとても多い。

(3) さくらさんたちは、前半と後半のあやとりやかるたに参加する1年生の人数を下の表にまとめました。

前半と後半の遊びごとの人数 (人)				
		後半		合計
		あやとり	かるた	
前半	あやとり	4	9	13
	かるた	8	7	15
合計		12	16	28

さくらさんたちは、あやとりに参加する1年生にひもをわたします。

わたすひもの本数を知るために、表からあやとりに参加する人数を調べると、次のことがわかります。

前半にあやとりに参加する人数は 人です。

前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数は 人です。

上の㊦、㊩に入る数を、それぞれ書きましょう。

<生活習慣について>

○規則正しく、望ましい生活習慣がついている児童が多い。

- ・毎日同じくらいの時刻に寝ている児童

全国、千葉県平均に比べて、大幅に高い

- ・毎日同じくらいの時刻に起きている児童

全国、千葉県平均に比べて、高い

- ・普段（平日に）スマートフォン、タブレット、テレビ等で SNS や動画視聴をする時間（学習やゲーム時間は除く）はどのくらいか。

「30分より少ない児童」

全国、千葉県平均に比べて、大幅に高い

「4 時間より多い児童」

全国、千葉県平均に比べて、大幅に低い

<自己有用感、心理的安全性について>

○自己肯定感が高い児童が多く、安心できる学級風土が本校の特色といえる。

- ・「学級では人と違う意見を言っても否定されないと思う」と答えた児童

全国、千葉県平均に比べて、大幅に高い

- ・「先生は、自分のよいところを認めてくれている」と答えた児童

全国、千葉県平均に比べて、大幅に高い

- ・「自分には、よいところがある」と答えた児童

全国、千葉県平均に比べて、大幅に高い

- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校の大人にいつでも相談できる」と答えた児童

全国、千葉県平均に比べて、大幅に高い

<学習及び社会性について>

- 自ら学び、他者と協働して高め合ったり、助け合ったりしようとしている児童が多い。

- ・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と答えた児童

全国、千葉県平均に比べて、大幅に高い

- ・「友達の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題解決に取り組んでいる」と答えた児童

全国、千葉県平均に比べて、大幅に高い

- ・「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた児童

全国、千葉県平均に比べて、大幅に高い

- ・「人の役に立つ人間になりたい」と答えた児童

全国、千葉県平均に比べて、大幅に高い

<ICT 機器の活用について>

- ICT 機器を用いた、情報収集や情報の整理、そしてスライド等を活用した発表に自信をもっている児童が多い。

- ・「PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができる」と答えた児童

全国、千葉県平均に比べて、大幅に高い

- ・「インターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができる」と答えた児童

全国、千葉県平均に比べて、高い

- ・「PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができる」と答えた児童

全国、千葉県平均に比べて、高い

<課題>

○読書習慣がほとんどない児童の割合が全国・千葉県平均に比べて多い

- ・「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり読書をまったくしない」と答えた児童

全国、千葉県平均に比べて、大幅に高い

- ・「昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書室にまったくいかない」と答えた児童

全国、千葉県平均に比べて、高い

<今年度の三小の6年生の児童の特徴>

- ① 自己肯定感、自己有用感が高く、安心して生活している児童が多い。
- ② 課題に対して主体的に取り組んだり、話し合いなどの協働的な学びに意欲的に取り組んだりしている児童が多い。
- ③ タブレットなどの ICT 機器を活用して資料を作成したり、発表したりすることに自信をもっている児童が多く、学習に生かされている。
- ④ 読書習慣がほとんどない児童が全国・千葉県に比べて多い。

<指導の改善策>

【国語】 特徴：強みと課題が明確に分かれている。

強み：読み取る力、表現する力、ICTでの発表

課題：漢字・言語の理解、読書習慣、情報を整理して書く力

① 三小タイムでの日常的な言語に関する学習

○ドリル、漢字小テスト、漢字のつくり、由来、音を表す部位等

○主語・述語の関係、指示語の内容などの言語に関するプリント学習

② 読書とICTを組み合わせた授業展開

○読んだ本の紹介カードや帯を作成する

・読み取った内容から読み手を意識した推薦文を考える

・物語の山場を意識したキャッチコピーを考える

○お気に入りの一冊をプレゼンするビブリオバトル

・スライドを作成する際に、「聞き手を意識した工夫とその効果」について学び、自分が何を取り入れたのかをノート等に記載する。

【算数】

特徴：算数に対する意識・学習活動と習得内容にギャップがある

<意識や態度>

① 協働的な学びへの意欲（全国等より大幅に高い）

② 粘り強く課題に取り組む態度（全国等より高い）

③ どのように考えたか説明する活動への取り組み（全国等より高い）

④ 図形や数直線が役に立つと思う（全国等より高い）

<課題：習得内容>

① 割合の概念理解（式の意味理解）（全国等より低い）

② 言葉、式で説明する記述式問題（全国等より低い）

③ 図形や数直線の理解（全国等より低い）

これらのギャップから推察される現状と改善のための取り組み案を以下に記す。

①割合の概念理解(式の意味理解)について

- ・立式する際の、決まりを探し、共有する。

「1㎡あたりの～」「1匹あたりの～」などの、問題文の言葉をヒントに、立式する練習を行う。

- ・割合の問題の商が何を意味しているのかを、逐一確認する。

「商が大きい方が混んでいるのか、小さい方が混んでいるのか」などについて、話し合ったり、個人で記述させたりする。

②記述式問題について

- ・協働的な学びに対して意欲的な反面、自分で記述して説明することが苦手な児童が多い。ここから話し合いの際に、理解している児童に説明してもらい、友達の発表や説明を聞いたり写したりして、「何となく分かった」で終わらせている児童が多いということが考えられる。

- ・①などの課題に取り組む際は、協働的な学習の場面と個人の学習の場面をつくる。例えば、最後の練習問題を解く際は答えを出すだけでなく、立式理由や商と答えの関係を自分でノートやワークシートにまとめるようにする。その際は、「説明のための型」を用意し個人でも解けるよう支援する。

③図形問題について

- ・図形や数直線を役立つものと考えているが、その理解については全国を下回っている。また、「1.5 倍」を視覚的に理解していない児童が多い。

- ・既成のきれいな図や数直線を画面上でスライド提示するだけでなく、「問題文の条件を読み取り、自分でフリーハンドでノートにテープ図や数直線を描き表す」活動を意識的に取り入れる。特に「割合」や「分数」の指導においては、自分で図を描き「1.5 倍とはこのくらいの長さ」「分母が大きいと1つ分のサイズは小さくなる」といった「量感」を視覚的に捉えさせるアプローチを重視する。図を描くプロセスそのものを評価し、共有する場を授業内に設ける。